

今年度の研究テーマ・ 研究計画について

研究テーマ

三原特支『付けたい力』を目指した授業づくり
～チームの強みを生かした授業研究～

研究方法

① 各学部の小グループ
(5～6人)で役割を
決めて、合計2回の授
業研究を行う。



② 各グループの授業研究の
内容を共有するために報
告会を行う。グループご
とにプレゼンテーションを
行い、実践事例や協議の内
容を全体に
共有する。



③ 三原特支『付けたい
力』に関するアンケー
トを実施し、教職員の
理解度や意識度を確
認する。



〔研究仮説〕

教職員全員が『付けたい力』についての理解を深め、『付けたい力』を目指した授業づくりができるであろう。

三原特支『付けたい力』

学校教育目標

障害のある児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立、社会参加そして社会貢献を行うための基盤となる「生きる力」を培う。

育てたい児童生徒像

礼儀

感謝

挑戦

- (1) ルールを守り、挨拶等礼儀正しい児童生徒（礼儀）
- (2) 感謝の心を持ち、それを伝えることのできる児童生徒（感謝）
- (3) 自分を大切にし、自らを高めようとする児童生徒（挑戦）

三原特支で
付けたい力



知識・技能

確かな知識・技能
体力

思考力・判断力・表現力

情報活用能力
コミュニケーション能力

学びに向かう力・人間性

主体性
自己肯定感
耐える力
(忍耐力)

授業等を通して、三原特支『付けたい力』を身に付けることで、それらの力が基になり、本校の育てたい児童生徒像である「礼儀、感謝、挑戦」の力につながると考えています。さらにこの「礼儀、感謝、挑戦」の力は、学校教育目標の「生きる力」の大切な要素にもなっていきます。

5月31日に教育研究部からオリエンテーションを行い、研究計画を全体に周知しました。



今後の予定

6～7月

授業研究のモデル実施（教育研究部）

教育研究部のメンバーで事前協議から研究授業、事後協議までをモデルとして実際に行い、研究方法や授業者シート、PP資料などの様式の改善を行います。

7月25日

オリエンテーション②

教育研究部で行った授業研究の報告会を行います。また、授業研究の方法を詳しく説明します。

9月～

各グループによる授業研究スタート